



平成 30 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○オリンピック部分【85,000】体育課

・支援対象 東京オリンピック実施競技（33 競技）

対象競技	陸上競技、水泳、レスリング、柔道、サッカー、バレーボール、体操、ボクシング、バドミントン、フェンシング、テニス、アーチェリー、ウエイトリフティング、射撃、セーリング、ゴルフ、ボート、バスケットボール、卓球、トライアスロン、ハンドボール、自転車競技、7人制ラグビー、ホッケー、カヌー、馬術、近代五種、テコンドー、野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン	
推薦対象年齢	2018 年度：16 歳～26 歳	
対象者	条件	①千葉県内の中学、高校、大学、スポーツクラブに在籍する生徒又は学生で、競技団体から推薦された者 ②千葉県内に在住する者で競技団体から推薦された者 ③千葉県内の中学校・高校を卒業した者で競技団体から推薦された者 ④競技団体から推薦があり、競技力向上推進本部が特に認めた者
	選手・団体	[特別強化支援]競技団体推薦基準 ①各世代の日本代表選手 ②全国大会上位者（個人 3 位以上） ③過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者
	指導者	対象選手を継続的に指導している指導者

・支援内容①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘  
⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者の活用 ⑧医科学サポート  
⑨競技力向上推進本部が特に認めた事業

○パラリンピック部分【30,000】体育課・障害者福祉推進課共管事業

・支援対象 東京パラリンピック実施競技（22 競技）

対象競技	アーチェリー、自転車競技、射撃、柔道、水泳、陸上競技、馬術、ボート、卓球、カヌー、トライアスロン、パワーリフティング、バドミントン、テコンドー、視覚障害者 5 人制サッカー、シッティングバレーボール、ボッチャ、ゴールボール、車いすテニス、車椅子バスケットボール、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー	
推薦対象年齢	2018 年度：12 歳以上	
強化対象者	条件	※オリンピック部分の①～③は同じ ④千葉県内に所在する競技団体等から推薦された学校又は団体（基礎強化支援のみ） ⑤競技団体等から推薦があり、千葉県障がい者スポーツ協会が特に認めた者
	選手・団体	[基礎強化支援]競技団体推薦基準 ① 県選抜代表選手 ② 県大会上位者（個人、団体 2 位以上） ③ 団体（過去 5 年間に於いて全国大会 8 位以上の学校又は団体） [特別強化支援]競技団体推薦基準 ① 各世代の日本代表選手 ② 全国大会上位者（個人 3 位以上） ③ 過去の成績や競技記録等が全国大会上位者と同等であると認められる者
	指導者	対象選手を継続的に指導している指導者
掘り起こし	対象事業：競技団体が企画した競技体験会の実施 資 質：障害者スポーツ選手のうち、優れた能力を有し、継続してパラリンピック競技に取り組む意志を持つ者	

・支援内容①海外遠征 ②国際大会の視察 ③国内遠征 ④強化合宿 ⑤選手・チームの招聘  
⑥競技用具の整備 ⑦外部指導者の活用 ⑧合同練習会・合同合宿 ⑨医科学サポート  
⑩千葉県障がい者スポーツ協会が特に認めた事業

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

<p><b>施策2 スポーツを通じたネットワークの充実・拡大</b></p> <p>目標・方向性（関連性）</p> <p>スポーツを通じた地域の活力づくりを推進する</p> <p>ア オリンピック・パラリンピック教育の推進（リンクA・C・F）</p> <p>イ 積極的なスポーツ交流への参画（リンクC・F）</p>
---

平成30年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	29	30	31	32	33
<p>・オリンピック・パラリンピック教育の推進 （リンクA・B・C・D・Fと連携） 【37,600】事前キャンプ・大会競技支援課 【一】体育課</p> <p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【9,000】教育政策課・教育立県推進室・企画班</p>	<p>・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施</p> <p>・JOCオリンピック教室の実施（6校）</p> <p>・推進校30校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施</p> <p>・JOCオリンピック教室の実施（6校）</p> <p>・推進校65校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>			

→ 継続して事業を進めていく予定のもの  
 ➡ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○オリンピック・パラリンピック教育の推進

【17,000（6月補正後：25,500）】東京オリンピック・パラリンピック推進課 事前キャンプ・競技普及班

・県内開催オリンピック・パラリンピック競技の普及・振興イベントの実施

・子どもたちとアスリートの交流

本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県民の競技に対する理解を深めるとともに、競技人口の増加を図るため、競技団体等の協力の下、体験会やトップアスリートとの交流などの普及イベントを実施します。（県民の日行事、大型商業施設における普及イベント等）

・JOC オリンピック教室の実施【一】（リンク A と連携）学校体育班連携

2020 年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において、JOC オリンピック教室（※）を実施します。

（※）JOC オリンピック教室とは、オリンピック（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピックだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。

・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業

【9,000】教育政策課・教育立県推進室・企画班

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。

「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

<p><b>施策3 誰もが参加できるみんなのスポーツの推進</b></p> <p>目標・方向性（関連性）</p> <p>共生社会に向けたアプローチを推進する</p> <p>ア アスリートの活躍する場（リンクA・D）</p> <p>イ 共生社会実現への取組（リンクB・C）</p>
---

平成30年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	工程表				
	29	30	31	32	33
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業（再掲） 【9,000】教育政策課・教育立県推進室・企画班</p> <p>・アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進 ・アスリートのキャリア支援</p> <p>【一】競技スポーツ班、オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班（リンクDと連携）</p> <p>・スポーツを通じた障害のある子どもとない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課（リンクBと連携）</p> <p>・総合型クラブの活用促進 【一】生涯スポーツ班（リンクB・Cと連携）</p> <p>・障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材（コーディネーター）の養成 【一】障害者福祉推進課・特別教育支援課・生涯スポーツ班（リンクB・Cと連携）</p>	<p>・推進校30校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校65校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>			

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 30 年度主な施策の概要【予算額（千円）】担当課・室・班

○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業（再掲）

【9,000】教育政策課・教育立県推進室・企画班

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育を推進し、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいくとともに、大会に向けた機運を醸成します。

「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動

「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進

○アスリートのキャリア支援

【一】競技スポーツ班、オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班（リンク D と連携）

県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力をを行います。

またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。

○スポーツを通じた障害のある子どもとない子どもとの交流・共同学習の推進

【一】特別教育支援課（リンク B と連携）

○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ班（リンク B・C と連携）

○障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材（コーディネーター）の養成

【一】障害者福祉推進課・特別教育支援課・生涯スポーツ班（リンク B・C と連携）